

弘前薬剤師会広報

弘薬通信

- 8/4 急患診療所運営委員会 弘前市医師会
- 8/6 令和2年度第1回弘前市地域包括支援センター運営協議会 市民会館
令和2年度第1回弘前市地域密着型サービス運営委員会 市民会館
- 8/24 理事会 弘薬会議室・zoom 開催
- 8/27 令和2年度弘前市立病院運営審議会 弘前市立病院
第2回弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画審議会 弘前市民会館
- 8/27 第3回広報情報委員会 zoom

理事会だより

令和2年度第4回(一社)弘前薬剤師会理事会

日時: 令和2年8月24日(火) 午後7時30分~

場所: 弘前薬剤師会 会議室

議長: 前田会長

議事録作成: 奈良(総務財務委員会)

議事録文責: 前田会長

出席者: 前田会長、磯木、鈴木各副会長、

上田、加藤、斎藤、佐々木、相馬各常務理事
大川、小笠原、奈良、前田(峻)、安田各理事
坂本監事

●弘薬議題

報告事項

(1) 急患診療運営委員会(8/4)

前田会長より報告あり。

・今のコロナ禍の状況で医師会の方から院内投薬の希望が上がっている。以前は予算の都合で無くなったので、弘前市の了解を得てから弘薬としても行動に移す。

(2) 令和2年度第1回弘前市地域包括支援センター

一般社団法人 弘前薬剤師会

広報 第42号(289号)

発行日 2020年(令和2年)9月1日

発行所(一社)弘前薬剤師会

弘前市中野2-10-5

TEL(0172)32-6205 FAX(0172)32-9199

<http://hirosakiyaku.com/>

運営協議会・令和2年度第1回弘前市地域密着型サービス運営委員会会議(8/6)

前田会長より報告あり。

・認知症サポーター養成講座を行って、人数を増やしたい。

(3) アルコール配布状況

・現在36薬局にしか配布出来ていないので、9月にまた再配布の案内を出す。

・各病院のFAXコーナーにも提供する。

(4) 県薬委員会出向者名簿

・各委員会の出向者が承認された。

(5) その他

・令和2年度青森県健康づくり事業功労者等の表彰で弘薬が表彰されることが決まり、9/1の表彰の授与式に前田会長が出席する。

●協議事項

(1) 弘前中央高校生徒からDDSについての質問

・中央高校出身者である小笠原理事が対応する。

(2) 慶弔規程

・具体的な内容までは決まっていなかったので、常務理事会と総務・財務委員会でたたき台を作成する。

(3) 薬と健康の週間のイベント

・イベントは開催しないが、各薬局で何かしらの薬についての啓発や健康セルフチェック等を行う予定。

(4) 「つどいの場」機能強化のための関係専門職ネットワーク構築支援会議(研修会)

・相馬常務が参加する。他にも参加したい人が居たら8/31までに連絡する。

(5) 弘前市安心カード

・弘前市安心カードの配布等に関して弘薬も協力する。

(6) その他

・青森県継続看護研究集会の後援をする。後援依頼

があるときは趣意書を出してもらおう。

- ・メーカーの研修会については生涯学習委員会の上田委員長が判断に困る場合に限って趣意書を出してもらい理事会で判断する。
- ・広報の補助金を県薬に申請する。

委員会だより

広報情報委員会

●弘前大学医学部附属病院

《 新規院外登録薬品 》

コレクチム軟膏 0.5%

マドパー配合錠

ラツダ錠 80mg

アルファカルシドール錠 0.5 μ g 「アメル」

オゼンピック皮下注 0.25mgSD

オゼンピック皮下注 0.5mgSD

オゼンピック皮下注 1.0mgSD

ロフラゼブ酸エチル錠 1mg 「サワイ」

●弘前市立病院

《 新規院外登録薬品 》

アプレピタントカプセル 80mg 「NK」

インスリンリスプロ BS 注ソロスターHU 「サノフィ」

ステロネマ注腸 3mg

ソリクア配合注ソロスター

ソルデム 3A 輸液 (500mL1 袋)

事例報告について

広報情報委員会の新企画です。

薬局ごとにヒヤリハットやインシデントに関しては薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業などに報告されているとは思いますが、弘前薬剤師会の会員間において情報共有をした場合、より身近な事例として日々の業務に役立つかと思われます。

フォーマットはまだこれからですが、現在作成中のホームページと連動して、今後会員からも投稿できる体制を作ってまいりますのでどうぞよろしくをお願いします。

No1 「一般名処方における外用混合の注意点」

RP1

【般】尿素クリーム 10%

【般】デキサメタゾンプロピオン酸エステル
クリーム 0.1%

(混合指示)

尿素クリーム 10%をウレパールクリーム 10%、メサデルムクリーム 0.1%で混合したところ、液状化。「軟膏・クリーム配合変化ハンドブック」によると「軟化」のため混合不可であった。投薬前であったため、廃棄。

代わりに、パスタロンクリーム 10%、メサデルムクリーム 0.1%で混合したところ、問題なく、ハンドブックにおいても混合可能であった。

【研修認定薬剤師制度更新のために】

昨今の COVID19 感染症拡大により、各種研修会の開催が見送られており、日本薬剤師研修センターによる研修認定薬剤師制度で更新のために必要な、各年最低 5 単位以上取得することが難しいとのご意見を聞いております。研修手帳にも記載がありますが、一般的な「集合研修」の他に、「グループ研修」や「自己研修」においても研修単位を取得することが可能です。

グループ研修とは、集合研修の条件に該当しない小規模研修会であって、かつ、受講単位請求書の提出による研修。2 時間につき 1 単位。

例) 複数人数で行った研修会。薬局内研修会や企業による新薬説明会など、その他弘前薬剤師会後援の各種研修会で「集合研修」単位がないものなど。

自己研修とは、自宅等において「3」に関連する教材(実施細則で定める)を用いて行い、かつ、受講単位請求書の提出による研修。4 時間につき 1 単位。

例) 個人が書籍・雑誌・テレビ・ビデオ・インターネット等視聴覚機器の活用により医学・薬学関連分野の学習をした場合。

他に各種 e-ラーニングにおいても研修単位が認められるものもございます。

従いまして、単位申請書の提出などの手続きは増えますが、自己研鑽などによっても更新に必要な最低

5 単位は確保できるものと思いますので、会員の皆様におかれましては、集合研修の再開まではご自身で研修を行い、単位申請を行ってください。

研修認定薬剤師制度の詳細は、薬剤師研修手帳をご覧ください。日本薬剤師研修センターHP

<http://www.jpec.or.jp/index.html>

「各種認定制度」－「研修認定薬剤師制度」－「申請・手続き」－「受講単位の種類と取得方法」のページをご参照ください。



編集者：櫻田 剛浩